

警察庁によると、2022年の行方不明者届出受理数は8万4910人で、2年連続で増加しました。

年齢層別では20歳代が最多で、10〜20歳代の若年層で全体の約4割を占めています。

す。しかし、原因・動機別

では、認知症を含む疾病関係が最も多く、全体の約3割を占め、認知症またはその疑いによる行方不明は、1万8709人でした。

認知症の行方不明者は発見が遅

認知症行方不明者をなくそう

れると、夏季は熱中症、冬季は低体温症などの危険性が高くなります。交通事故や水難事故に遭うなど生命の危険もあります。早期の発見・保護が大切で、警察や地域で

連携して見守り活動を行い、行方不明情報

が発信されたら素早く対応するなど、官民一体の取り組みが重要です。はいかい徘徊する方を見かけたら、すぐ警察などに通報

しましょう。

防犯一口メモ